



藤沢市立明治中学校 学校だより

2026年9月18日

明中通信

No. 4

発行 校長 大石 由佳

<学校教育目標> ひと・もの・ことと豊かに関わりながら たくましく生きる生徒の育成

学校ホームページ <http://www.fujisawa-kng.ed.jp/jmeij/>

～防災について考える～



夏休みが明けて2週間余りが経ちました。9月に入ってから雨の日が続いていて、夏がいつの間にか過ぎていってしまったように感じます。

今年の夏は、非常に災害が多い夏となってしまいました。熊本地震、千葉の豪雨、北陸地方の豪雨など、日本のあちこちで災害が起き、海外ではネパールでも大規模な土石流や洪水が発生しました。今もなお、不自由で大変な生活を強いられている方々がたくさんいます。なかなか片付かない自宅や以前とすっかり変わってしまった光景を目の前にして、折れそうになる心を抱えながらも、必死で新たな一歩を踏み出そうとしている姿を見ると、本当にやるせない気持ちになります。被災された方々に心よりお見舞い申し上げるとともに、被災地の一日も早い復興を祈ります。

この夏、私は、宮城県の気仙沼に行き、東日本大震災による津波によって大きな被害を受けた施設等を訪れました。夏休み明けの9月1日は防災の日ということもあったので、その日の全校集会で、私が気仙沼で見聞きしてきたことについて話をしました。私が訪れた施設は、震災前は高校の校舎で、現在は震災の記録と教訓を伝える伝承館となっています。震災当時の被害の状況がそのまま残っていて大津波の恐ろしさを伝える貴重な施設となっています。全校集会では、写真を提示しながら被害の様子を見てもらうとともに、生徒や先生たちがどのように避難したかについても話しました。ちなみに、この高校では、普段からの避難訓練の成果と、震災時に周りの人の言葉を聞き、自分たちで考え行動した結果、全員無事に避難できたそうです。

そして、話の最後に、同じ気仙沼市にある階上（はしかみ）中学校の卒業式での卒業生代表の言葉を紹介しました。階上中学校は、震災の翌日である3月12日に卒業式を行うことになっていました。しかし、その前日の大地震と大津波がかけがえのない命や、人々の大切なものを破壊し奪っていきました。答辞は、そのような悲痛な状況の中、また学校が地域の避難所となりたくさんの被災された方々が見守る中、10日遅れで行われた卒業式での15歳の少年の心の叫びです。

「苦境にあっても、天を恨まず・・・」という言葉からは、困難な状況に耐え、謙虚に力強く生きていこうという強い意志を感じます。ですが、おそらくは「なぜ自分はこんな目に遭うのだろう」と苦しんだこともあったでしょう。

私たちは嫌なことや辛いことがあると、他の人や何かのせいにしがちです。また、現実から逃げたくなったりすることもあると思います。震災から15年経っていますが、この言葉の重さに背筋が正される思いになると同時に、自分ができることをもっとやらなければ。という気持ちにさせられました。

また、震災伝承館でガイドの方が強くおっしゃっていたのは、「大きな地震は発生する」「大震災では想定外は必ず起こる」ということでした。その上で、想定外のことが起こってしまったときには、「いち早く冷静になる」「今できることを考える」「判断力・決断力をもって素早く行動する」ことが非常に大切だということです。

大きな自然災害はいつ起こるかわかりません。ご家庭でも防災について話題にいただき、安否確認の方法、避難経路、避難場所等を再確認していただきたいと思います。

＜気仙沼市立階上中学校 卒業式答辞・卒業生代表の言葉＞

…ちょうど十日前の三月十二日。春を思わせる暖かな日でした。私たちは、そのキラキラ光る日差しの中を、希望に胸を膨らませ、通り慣れたこの学舎を、五十七名揃って巣立つはずでした。

前日の十一日。一足早く渡された思い出のたくさん詰まったアルバムを開き、十数時間後の卒業式に思いを馳せた友もいたことでしょう。「東日本大震災」と名付けられる天変地異が起こるとも知らずに…。

階上中学校といえば「防災教育」といわれ、内外から高く評価され、十分な訓練もしていた私たちでした。しかし、自然の猛威の前には、人間の力はあまりにも無力で、私たちから大切なものを容赦なく奪っていきました。天が与えた試練というには、むごすぎるものでした。つらくて、悔しくてたまりません。

時計の針は十四時四十六分を指したままです。でも時は確実に流れています。生かされた者として、顔を上げ、常に思いやりの心を持ち、強く、正しく、たくましく生きていかなければなりません。

命の重さを知るには大きすぎる代償でした。しかし、苦境にあっても、天を恨まず、運命に耐え、助け合って生きていくことが、これからの私たちの使命です。

私たちは今、それぞれの新しい人生の一步を踏み出します。どこにいても、何をしていようとも、この地で、仲間と共有した時を忘れず、宝物として生きていきます。

後輩の皆さん、階上中学校で過ごす「あたりまえ」に思える日々や友達が、いかに貴重なものかを考え、いとおしんで過ごしてください。…（文部科学白書 2010 より一部抜粋）

【合唱祭の練習が始まっています】

今年度の合唱祭は、藤沢市民会館の改修の関係で、ひらしん平塚文化芸術ホールにて10月8日（木）に行われます。そして、本番に向け、9月10日（木）から合唱練習が始まっています。連日各フロアから素敵な歌声が響いてきて、心が洗われるひとときとなっています。



なお、合唱祭当日ですが、会場の収容人数の都合により、今年度は全学年お子様ひとりにつき保護者1名のみの参観となります。大変心苦しいのですが、状況をご理解いただきご協力をお願いいたします。詳細につきましては、本日付けでお配りしたプリントをご覧ください。

＜合唱祭 クラス曲＞（出演順）

16	花は咲く	22	旅立ちの時～Asian Dream Song～	31	はじまり
17	COSMOS	25	虹色の未来	32	キミのもとへ…
14	道	21	あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ	36	青い鳥
13	空高く	24	時を越えて	35	ヒカリ
12	永遠のキャンパス	23	心の瞳	33	手紙
11	変わらないもの	26	空は今	34	YELL
15	君をのせて				

【お知らせ】

1. 卒業式について

日時：3月10日（水） 詳細は後日お知らせいたします。

2. 講演会のお知らせ

日時：10月23日（金）10：50～12：30

講師：式町水晶（しきまちみずき）氏 脳性まひと戦うプロヴァイオリニストの方です

*保護者の方も参加できますので、ご都合がございましたらぜひご来校ください。

3. 校舎内のすべてのトイレが夏休み中に洋式にリニューアルされました。今後、校舎外のトイレもすべて洋式になります。

※ 部活動の夏の大会等の結果について別紙に載せましたのでご覧ください。

【明中通信 No.4 別紙】

◆女子 1回戦 ○ VS 鎌倉市立第一中 2回戦 ● VS 鶴沼中

<卓球部>

[市総体]

◆男子団体 [8位]

予選リーグ ● VS 秋葉台中、○ VS 滝の沢中

決勝トーナメント 1回戦 ● 高浜中 敗者戦 ● VS 長後中

◆女子団体 [8位]

予選リーグ ○ VS 秋葉台中、○ VS 高浜中、○ VS 滝の沢中

決勝トーナメント 1回戦 ● VS 第一中 敗者戦 ● VS 善行中

[審判研修大会] ◆新人男子個人 2位 森本太陽

◆男子個人

ベスト32 (1名)

湘南ブロック大会出場

◆女子個人

ベスト32 (2名)

湘南ブロック大会出場

<剣道部>

[市総体]

◆男子団体

予選リーグ ○ VS 藤嶺藤沢中、● VS 鶴沼中

決勝トーナメント 1回戦 ● VS 六会中 湘南代表決定戦 ● VS 村岡中

◆女子団体

予選リーグ ● VS 湘洋中、△ VS 村岡中、● VS 湘南学園中

(引き分け)

<陸上競技部>

[藤沢市陸上競技選手権大会]

◆男子

・3年 400 m 2位 ・3年 1500 m 2位

・3年 3000 m 3位 ・3年 砲丸投 3位

・2年 1500 m 2位 ・2年 3000 m 1位

・2年 110mH 2位

・1年 800 m 2位 ・1年 1500 m 2位

◆女子

・3年 800 m 3位

[藤沢市中学校対抗陸上競技大会兼神奈川県大会予選会]

◆男子 【男子総合の部 3位】

・共通 400 m 2位 ・共通 1500 m 2位

<吹奏楽部>

湘南吹奏楽コンクール (A部門) 金賞 **県大会出場**

神奈川県吹奏楽コンクール (A部門) 銀賞